


【新企画】男性ゆえの「生きづらさ」を考えるセミナーを開催！

主催	加古川市男女共同参画センター
日時	令和6年1月28日（日）午前10時30分～午後0時30分
場所	加古川市民交流ひろば 会議室5（カピル21ビル5階）
内容	<p>【タイトル】 「いつから男は生きづらくなったのか・泣かない男が泣くとき ～悩み相談員と考える生きづらさから抜け出すヒント～」</p> <p>【内 容】 男性ゆえの「生きづらさ」を切り口に、自分らしい生き方について考える新企画セミナーです。 パートナーや家族、生活や仕事の中で当たり前のように求められる「こうあるべき」に、違和感やしんどさを感じている男性は多いのではないのでしょうか？ それは「男らしさの鎧（よろい）」です。 重い鎧を脱いで自分らしく生きるヒントを、このセミナーで見つけないか。</p> <p>【講 師】  男性の悩み相談の相談員で、ラジオや新聞などでも活躍中の（一社）日本男性相談フォーラム代表理事 福島 充人さん。</p> <p>会場は、加古川市民交流ひろば（カピル21ビル5階）。加古川駅から徒歩5分です。お車でお越しの方には、指定駐車場の2時間無料駐車券をお渡しします。かこがわオンライン申請システムから、お気軽にお申し込みください！</p> <p style="text-align: right;">（■初めて ・ 恒例 ・ ○回目）</p>
対象（参加者）	テーマに関心のある人
定員	20人（先着・要申込）
参加費	無料
申込先・方法	①電話で加古川市男女共同参画センター（079-424-7172） 受付時間：月～金曜日（祝日・年末年始を除く）午前9時～午後5時30分 ②かこがわオンライン申請システムより申込み（「生きづらさ」で検索）
目的・背景 その他	男性ゆえの「生きづらさ」は、性別役割分担意識や性差に関する無意識の偏見や思い込みから来ています。そこから抜け出すヒントを見つけ、性別にかかわらず誰もが生きやすい男女共同参画社会をめざします。
市ホームページ	掲載済み
広報かこがわ	1月号に掲載

令和5年度新企画セミナー

いつから男は

泣かない男が泣くとき

生きづらくなつたのか

～悩み相談員と考える生きづらさから抜け出すヒント～

「男のくせに泣くな」

「男性は家族を養って一人前」

「男は強く、女はやさしく」…

パートナーや家族、生活や仕事の中で、「こうあるべき」を当たり前のよう
求められることに、違和感やしんどさを感じ
ることはありませんか。

このセミナーでは、その違和感の正体を、
悩み相談を通じたお話から解き明かしていきます。

生きづらさを感じる人、

生きづらそうな人を理解したい人、

悩み相談員でもある講師と一緒に、

男も女も生きやすくなるヒントをさがしませんか。

内容

- ・ 男性の悩み相談からみてきたもの
- ・ 男らしさの鑑(よらい)
- ・ 男らしさ、女らしさとは何なのか
- ・ 男がいきぬく生き抜く・息抜く社会とは ほか

講師

(一社)日本男性相談フォーラム
代表理事 福島充人さん(臨床心理士
公認心理師)



男性相談をはじめ、父親が
集まり自身の子育てについて語る『パパの子育てカフェ』に学生の頃から携わる。結婚目前の30歳、白血病で職を失ったことをきっかけに男性としての生きづらさに気づき「自分らしく生きたい」と強く願うように。
著書 濱田智崇ほか『男性は何をどう悩むのか』ミネルヴァ書房(2018年)5章・10章。



令和6年 **1/28** 日 10:30~12:30
市民交流ひろば 会議室5

参加無料 定員20名 (要申込・先着順)
一時保育あり (無料・要申込・定員あり)

申込方法

- ①電話で男女共同参画センターへ
- ②かこがわオンライン申請システムから(右のQRコードよりアクセス)



申込・問合せ先

加古川市 市民活動推進課 男女共同参画・多様性社会推進係
加古川市男女共同参画センター
〒675-0065 加古川市加古川町篠原町21-8 (カビル21ビル5階)
電話 079-424-7172
受付時間 午前9時~午後5時30分
月曜日~金曜日(祝日、年末年始、施設保守点検日を除く)



- お車の方は、指定駐車場①~⑤をご利用ください。
2時間無料券をお渡ししますので、駐車券をご持参ください。
(他の駐車場の無料券はお渡しできませんのでご注意ください)
- 自転車の方は、加古川駅南自転車駐車場(2時間以内は無料)をご利用ください。